

令和 8 年度第 1 回塩竈市地域公共交通会議 議事録

日 時：令和 8 年 5 月 27 日（水） 10：00～11：00

場 所：塩竈市役所 3 階北側委員会室

出席委員：千葉会長、長尾委員、熊谷委員、伊藤委員、鈴木委員、郷家委員、菅原委員、猪俣委員、
小山委員、高橋委員、佐藤委員、村田委員、大友委員、鈴木委員（計 14 名）

欠席委員：川村委員

事 務 局：塩竈市総務部政策課

1. 会議目的

本市におけるバス運行の実績等について報告するもの。

（1）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和 7 年度実績報告（報告事項）

（2）ミヤコーバス様のゴルフ場線減便について（報告事項）

2. 議事要旨

[報告事項]

（1）しおナビバス・NEWしおナビバスの令和 7 年度実績報告について、事務局から説明

[質疑等]

委 員：NEW しおナビバスの回数券について、資料上では 5 月に周知を実施と記載があるが、毎年 5 月に周知活動を行っているということか。今年度はこれから行うということか。

事務局：令和 7 年度の 6 月から正式に利用が開始され、引き続き販売を実施している状況で、通年で利用できるものとなっている。

委 員：令和 6 年度に運賃を上げたが、物価高騰の影響等で、市の負担額は増えているという認識でよろしいか。

事務局：はい。運行経費が増えていることが大きな要因として考えられる。特に人件費の部分が大きく影響している。

委 員：様々な事情があるのは承知しているが、利便性は上がっている一方で、利用者の減少に伴い収益性が低下している状況で塩竈市の負担が大きく、生産性の観点で見れば厳しい状況が続いていると判断せざるを得ない。

委 員：キャッシュレス決済について、運賃が上がりワンコインではなくなったため、高齢者を中心に支払いの際に手間取ることがある。一部手数料を取られると思うが、交通系 IC カードを使えるようにタッチ決済を導入して利便性を上げていただきたい。

事務局：NEW しおナビバスについては委託しているものになるので、業者と意見交換して相談しながら検討していきたいと思う。

会 長：コロナウイルスの影響が大きく、収支率を改善するために、令和 6 年度に 100 円から 150 円に運賃改定を行った。運賃改定直後の令和 6 年度はコロナ渦前の水準である 61.7%に戻ったが、令和 7 年度の収支率は 53.9%と再び落ち込んできている。今後の収支率の推移について、市町

村によって利用動向増減は様々あると思うが、基本的には減少傾向にある。令和7年度はルート変更を行ったことで乗降者数が増えた部分がある。今後もルート変更については検討を重ねていく。

また、NEW しおナビバスについて、市民から週末の運行を要望する声はいただくが、ドライバーの確保が非常に大きな課題となっている。ドライバーの高齢化も問題視されているなかで、自治体としては費用面や運行経路だけ注視するのではなく、担い手確保についてどのような支援ができるか、そのようなところも含めて今後検討していきたいと思っている。

[報告事項]

(2) ミヤコーバス様のゴルフ場線減便について、事務局から説明

[質疑等]

委員：民間企業であるためやむを得ない部分はあると思うが、廃止された場合、千賀の台周辺を通るバスが全くなってしまうので、ルート変更や新ルート増設等の配慮をお願いしたい。

会長：事務局として、現段階での考え方や今後の日程はあるか。

事務局：公共交通会議の場でルート案を示しながら、対応していきたい。スケジュールについては、7、8月くらいにはルート案やダイヤ案を示し、委員の皆さんのご意見をいただきながら進めていきたいと考えているのが現状である。

会長：これから検討していくことにはなるが、今後も千賀の台エリアのバスは必要であるので、どのような対応が可能か、まずは事務局の方で検討していく。代替案は他の地域の便数やダイヤに影響をもたらす可能性があるので、公共交通会議で委員の皆さんの意見を聞きながら検討してまいりたい。ただ、ドライバー不足というのが根本にあり、他の地域を含めてこの傾向は変わらないと考えている。どのような形で私たちの地域の足を守っていくのか、これが大きな課題である。収支比率の負担を考えつつ、利便性を上げる施策についても考えていかなければならない。

また、2市3町との間では、周辺地域でもコミュニティバスを運行されているので、将来的には、例えば、相互に乗り入れをする、周辺エリアの共通ダイヤや共通マップを作成して配布する、市をまたいで乗車した場合も同一料金とする、などアイディアはたくさんあるのではないかと話題に上がっている。従来はこれらの手続きに大きなコストがかかるようだったが、DXの進歩で代替案もあると他自治体から伺っているので、様々な意見をいただきながらより良い形で検討していきたいと思っている。

委員：全国的にドライバーの人材不足は問題となっているが、最大の要因はなにか。

委員：今の若い人たちが車に興味がなく、大型二種免許を取る人がいないことが要因として考えられる。以前から免許支援制度を導入しているが、はじめこそこの制度をきっかけに応募してくれる人もいたが、最近では効果が薄くなっている。

会長：聞いた話にはなるが、元自衛官がバスやトラックのドライバーになる時期があったそうだが、近年ではそのような人材が取り合いとなっており、より条件のいいところに人が流れて行っている状況であるようだ。また、バスの場合はお客様対応があり、トラックの場合は荷物の対応が主となるので、トラックドライバーが選択される傾向にあるとのことだ。

委員：ドライバーの年収について、一般的な社会人の年収と比べるとどのような推移となっているか。

委員：バス運転手の賃金は安いと思う。最近は賃上げをして、徐々に上がってきているとは思いますが、難しいところである。

委員：最近では女性のトラックドライバーが多いように思われるが、女性のバスドライバーはいるのか。

委員：女性ドライバーは何名かいる。しかし、長続きはしない印象である。塩釜営業所にも 4、5 名はいたが、現在は 1 名もいない状況である。

3. その他

特になし